

---

# Jazz Guitar Lesson

## For Jazz Beginner 【2】

---



Mistletoe Music School

<YouTube 動画URL>

[https://youtu.be/l3JwsP\\_dPC8](https://youtu.be/l3JwsP_dPC8)

---

ロックギタリストのための

---

## ジャズギター入門シリーズ！【2】

---

ジャズに初めて挑戦する方を応援する「ジャズギター入門シリーズ」第2回目は「**先取りアプローチの拡張**」と「**小節感の把握**」がテーマになります。ジャズでは12小節から32小節程度のコード進行を繰り返して演奏を展開していきますが、ジャズ学習初期の段階では、アドリブ演奏中に「今どこを弾いているのか分からない！」状況（ロストと言います）に陥ってしまいがちです。今回は小節の間隔を掴む練習です。上級者は拍数を1つつ数えているわけではありません。間隔を感じる事が大切です。

**達成目標：1週間以内**

### 【伴奏課題】

#### － 先取りアプローチの拡張 －

まずは伴奏課題から練習しましょう。12小節のコード進行は暗譜出来ましたか？まだ譜面を見ていないと間違えてしまう方は練習量が足りません。出来ていないのに先の知識を求めてしまいがちな方は要注意です。第1回の動画でお話をしましたが、自身のレベル以上の内容を学ぶには時間が掛かってしまいます。1つ1つの課題を確実にこなしてから次の課題へと進めてくださいね。前回は次の小節のコードを4拍目の裏へ先取り（アンティシペーション）させました。今回は先取りのアプローチを、更にもう半拍前へと送ります。

## - 半音上下からのアプローチ -

4拍目の頭と裏を弾きますが、同じコードを2回連続で弾いても面白くありません。ターゲットである次の小節のコードに向かって半音上下からアプローチをしてみましょう。最初は半音上をオススメします（下降した方が自然な進行感になるため）

また、この時のピッキングは全てダウンピッキングを使用します。ジャズのコンピングでは9割方はダウンピッキングで演奏します。Swingすることも忘れないようにしましょう。




## - 更なる先取り -

このリズムで演奏する際も、半音上下からアプローチを入れてみましょう。4拍目の裏が次の小節のコード、3拍目の裏はそのコードの半拍上下です。

このリズムで演奏する際も、半音上下からアプローチを入れてみましょう。4拍目の裏が次の小節のコード、3拍目の裏はそのコードの半拍上下です。

## 【ソロ課題】

### － 小節感の把握 －

第1回では1小節ごとにフレーズを導入しましたが、今回は各段の3、4小節目の小節の長さを感じる練習です。「まだアドリブ・フレーズやらないの？」と思われるかも知れませんが、ロックのペントトニックのように何処でも演奏すればOK!というわけではなく、ジャズではコード進行に沿って音を選んで演奏していきます。頑張ってフレーズを練習したとしても、ロストをして、今演奏中の場所を見失ってしまったら導入は出来ません。

- 1) 下記の譜面の通りに演奏しましょう
- 2) 各段3、4小節目の単音はお休みして長さをカウントしましょう
- 3) いきなり沢山の音を弾かないように、次のページのポイントを参考に音を導入しましょう

The image shows three systems of guitar notation. Each system includes a treble clef staff with notes and a guitar tablature staff with fret numbers. Chord symbols are placed above the notes. The first system has chords: Db7 C7, Gb7 F7, Db7 C7, C7, Gb7 F7. The second system has chords: F7, Gb7 F7, Db7 C7, C7, Ab7 G7. The third system has chords: G7, Gb7 F7, Db7 C7, G7, Db7 C7. Dynamics 'p' are marked above some notes.

### - 3、4小節目の演奏サンプル -

まずは、全て休符で長さを把握

D $\flat$ 7 C7 C7 G $\flat$ 7 F7

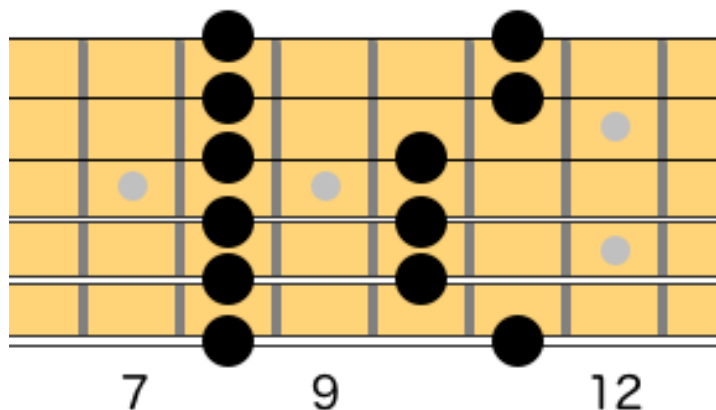
同じ音で長さを把握

同じフレーズを2回続けて長さを把握

1小節目だけ8分音符で演奏してみる

全て8分音符で演奏、少しぐらい間違えても諦めないこと！

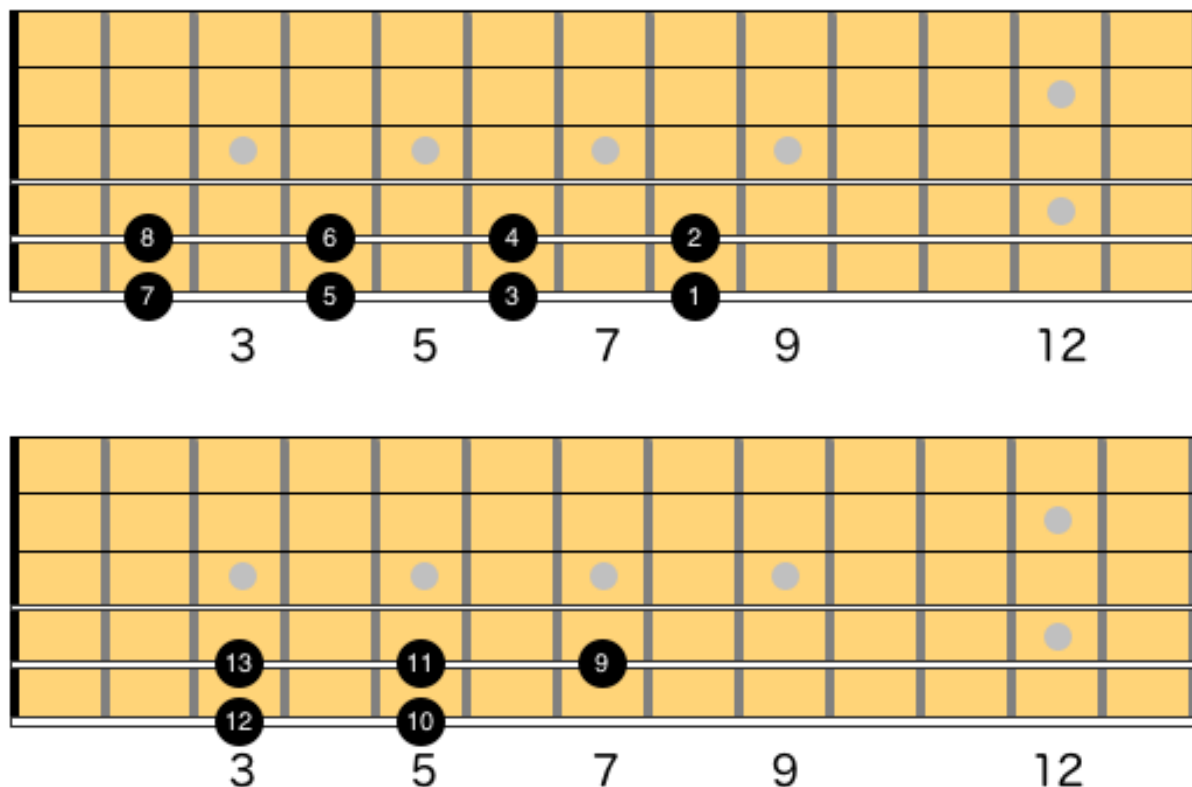
使用する音階は第1回目同様、  
C minor Pentatonic ScaleでOK



## 【基礎課題】

### - アルペジオフォームの移動 -

下記、それぞれの音をルートにしたアルペジオを番号順に演奏しましょう。



### - Major 7th Chordでの演奏例 -

The image shows two staves of musical notation for Major 7th Chord examples. The first staff contains the following chords and their corresponding guitar tablature: CM7 (8 7 10 9), FM7 (8 7 10 9), B $\flat$ M7 (6 5 8 7), E $\flat$ M7 (6 5 8 7), A $\flat$ M7 (4 3 6 5), D $\flat$ M7 (4 3 6 5), G $\flat$ M7 (2 1 4 3), and B $\sharp$ M7 (2 1 4 3). The second staff contains: EM7 (7 6 9 8), AM7 (5 4 7 6), DM7 (5 4 7 6), GM7 (3 2 5 4), and CM7 (3 2 5 4).

---

## － 演奏しているコードアルペジオ名を言いましょう －

暫くの間、スタートするRootの位置を指板の場所で覚えてかまいません。スムーズに演奏出来るようになったら、演奏中のコード名を言えるようにしましょう。更にスムーズになり、次に演奏するアルペジオのコード名を言えるようになったら完璧です。今回の基礎練習の演奏順序はランダムに移動しているのではなく意味が存在します。(理論はいずれ説明します)

### ▼投げ銭応援箱

<https://www.paypal.me/mistletoepay/1000>

Paypalを使用した投げ銭箱です。額は自由に変更できます。まだまだ制作頑張ります。応援、宜しくお願い致します。

